



# とうおん 議会だより

TOON CITY COUNCIL REPORT

- ②～④ 9月定例会  
補正予算・質疑・18歳に聞きました
- ⑤～⑨ 一般質問
- ⑩ 委員会報告  
(総務産業建設・文教市民福祉)
- ⑪ 討論
- ⑫～⑬ 決算審査特別委員会
- ⑭～⑮ 特別委員会報告等
- ⑯ 表決結果、議決結果一覧表

2015年  
第39号

平成27年11月1日発行



どぶろくづくり「秋の収穫祭」

# 9月定例会

## 一般会計平成27年度一般会計総額 155億717万円に

# 9月補正予算 1億6,632万円を追加

9月定例会が9月8日から25日まで18日間の会期で開催された。

一般会計補正予算等28件の審議案件を慎重に審議した。

東温市議会の議員定数についても審議を行い、次の選挙から現在の18人を16人に削減した。

また、平成26年度一般会計歳入歳出決算認定等、決算関係9件については、決算審査特別委員会を設置し、閉会中の継続審査とした。

**一般会計補正予算に  
計上された主な事業**

(注)事業名称欄の◎印は新規事業、○印は大幅増額事業、★印は地方創生先行型交付金事業

**基幹系システム運用管理費**

・マイナンバー制度導入に伴う住基ネット端末等の増設及びLWLAN接続設定経費  
409万円

**★多世代交流拠点整備事業**

・空き店舗を活用した多世代交流拠点の整備経費  
895万円

**★空き家活用推進事業**

・空き家バンク制度の推進経費  
160万円

**★地方創生総合サイト構築事業**  
・地方創生の取り組みを総合的に情報発信するサイトの構築経費  
800万円

**★女性のチャレンジ応援事業**  
・女性の活躍を支援するためのセミナー等企画経費  
150万円

**戸籍住民基本台帳一般事務費**

・個人番号カード等交付に伴う関連事務費  
79万円

**国民年金事務費**

・国民年金法の一部改正に伴うシステム改修経費  
43万円

◎**婚活支援事業**

・少子化対策に係る婚活セミナーの開催経費  
28万円

**保育所改修事業**

・市立保育所の電気空調設備改修工事に係る実施設計費  
212万円

**新規就農者拡大促進事業**

・新規就農者の農業用機械導入経費に対する助成  
68万円

**認定農業者経営改善支援事業**

・認定農業者の農業機械及び施設導入経費に対する助成  
342万円

### 災害復旧

**農業用施設災害復旧事業**

・農地及び農業用施設の災害復旧費に対する助成  
875万円

**公共土木施設災害復旧事業**

・道路災害復旧工事 5件  
・河川災害復旧工事 4件  
4,140万円



災害復旧工事を行う山麓川

### 水道事業会計補正予算

**上水道事業**

・送配水施設等改良費  
2,138万円

◎**担い手農地利用集積支援事業**  
・農地利用集積を行う地域農業の担い手の農業機械及び施設導入経費に対する助成  
403万円

**水田フル活用促進事業**

・水田フル活用を先導するモデル農場等の農業機械及び施設導入経費等に対する助成  
668万円

**土地改良施設維持管理適正化事業補助金**

・北野田大地泉水中ポンプ改修工事に係る助成  
204万円



改修予定の北野田大地泉水中ポンプ

**県営ため池等整備事業**

・北方東谷池の老朽化に伴う改修計画経費  
410万円

**有害鳥獣捕獲事業補助金**

・捕獲数の増加に伴う補助金の増額  
63万円

### 議案に対する質疑

**教育委員会の点検・評価報告**

**問** スクールソーシャルワーカー配置の評価が低いのはなぜか。

**答** 保護者に周知が行き届いていないことや教職員間で若干連携が図られていない状況がある。

**問** 歴史民俗資料館の活用は。

**答** 常設展示のほか企画展示等の開催、校外学習も含めた学芸員の派遣を検討し、一層のPR活動に努める。

**問** 滑川野外活動研修施設の活用状況は。

**答** 当初の目標940人に対し、26年度は利用者数435人であったため、今後自然体験教室やそつめん流しなど、地元と協力し野外活動プログラムなどを取り入れて利用増加に努める。

### 一般会計補正予算

**問** 女性のチャレンジ応援企画委託料の事業内容は。

**答** 起業等を検討している女性のためにセミナー等を開催し、外部コーディネーター等の助言・指導や、ノウハウやスキル等のブラッシュアップを行う。



改修予定の市役所西交差点

**消防団員安全装備品整備事業**  
・消防団員の活動に係る安全装備品(編上安全靴)の整備経費  
93万円



改修予定の川内公民館トイレ

**私立幼稚園就園奨励事業補助金**  
・就園奨励対象児童の拡大、多子世帯への保育料軽減に伴う助成  
122万円

**奨学金事業**

・寄附申出に伴う奨学金基金への積立  
288万円

**消防水利整備事業**

・横河原10号線道路拡幅に伴う防火水槽の撤去及び屋外消火栓等の新設工事費  
200万円

**市単独道路改修事業**

・市役所西交差点改良工事に係る基本設計費  
85万円

**職員給与費**

・災害対応職員の超過勤務手当  
3,790万円

**公民館管理費**

・中央公民館大ホール照明器具の修繕経費  
410万円

**公民館施設改修事業**

・川内公民館トイレ改修工事  
227万円

**公民館施設改修事業**

・川内公民館トイレ改修工事  
1,469万円

# 7議員 市政を問う!!



9月定例会

# 一般質問

**問** 認定農業者となる基準は。5年間の農業経営改善計画を作成し、市から認定された経営体・個人・法人が認定農業者となる。認定基準は、労働時間が年間2000時間以内。5年後の努力目標として年間所得が380万円以上。市内の認定農業者は141人、うち法人関係は11。

**問** 地域資源活用全国展開支援事業とは。

**答** 商工会が27年度小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業に応募し採択された。事業内容は食文化創造プロジェクト及びツイッターズムプロジェクトである。



食文化創造プロジェクトでの協議風景

**問** 横河原の空き店舗利用の計画内容は。

**答** 多世代交流拠点として空き店舗を交渉中。基本的に5年間借り、その後は合意に基づき自

動更新をする。今後、地元とのワークショップや話し合いを重ね、将来的には地元が自主的な運営ができるよう考えている。

**東温市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正**

**問** 准看護師に保育士の資格を与えることは、保育の質の低下になるのではないか。

**答** 保育士の数が足りないのを補うため、厚生労働省令の基準が改正された。准看護師としての知識や技能を生かして保育に当たれることは可能と考えている。

**防災行政無線移動系デジタル化整備工事請負契約の締結**

**問** 落札率が68.86%となった要因は。

**答** 設計金額のうち、82%が機器費である。入札業者が製造メーカーから安価で入手できるため、当初市で設定していた金額を下回った。今までの施工実績等を聞き取り、適正な価格であった。また機器としては最新のものを導入予定であることを確認し、落札業者を決定した。

## 地方創生の取り組みは



佐伯 正夫 議員

**問** 東温市は、国が掲げる地方創生に関し、少子高齢化の進展や人口減少に歯止めをかけるため、地域の個性を最大限に生かした住みよい環境づくり等について総合戦略会議を開催しているが、現在策定を進めている中で他市と異なる取り組みは。

**高須賀市長** 東温市が他の市町と異なる点を抜き出し、その中でも、内陸部である東温市への「企業の立地ニーズが高い」「愛媛大学医学部と連携できる」「また、坊っちゃん劇場の価値が評価されている」「さらには、「都市と農村が共存し、恵まれた交通条件によって短い時間で結ばれるまちであること」に着目した。東温市だからこそできる積極的な戦略の取り組みとして、「工業団地の造成」とこれに合わせた「スマートインターチ



坊っちゃん劇場を拠点としたまちづくり

エンジ」の整備を進めていきたいと考えている。  
**問** 人口減少対策のソフト面の取り組みと、今後の計画は。

**高須賀市長** 今年度から、集落支援員を配置し、各地域のヒアリングを実施。来年度は、これらの地域の手助け役となる地域おこし協力隊の導入を検討している。今後は、高齢者と子どもが一緒に過ごせる地域の居場所づくりも今回の戦略の1つとして取り組んでいく。こうした取り組みが東温市の地域経済の活力を低下させないための方策だと考えている。

**池川教育長** いじめの認知件数の推移は、平成23年度13件、24年度20件、25年度17件、学校の実情に応じた、いじめ防止基本方針を策定した26年度が13件、今年度は7月末で10件の報告が上がっている。  
**伊方原発再稼働**  
**問** 伊方原発再稼働の是非は。  
**高須賀市長** 重大な事故が起きた場合の県と市町の責任について中村知事は、「再稼働に地元同意が条件となった以上、同意すれば知事として県も責任を負わなければならない。」と、発言された。私としては、「国や県民を代表しての知事の判断、地元周辺自治体の動向を注視したい」と考えている。

## 18歳に聞きました

平成28年から18歳以上に選挙権が与えられます。選挙について、市内の18歳を代表して男女2人に、議会だより編集委員会正・副委員長が学校訪問し、感想や思いを伺いました。



東温高校3年 村上 泰授さん



東温高校3年 宮崎 ももかさん

- ① 来年から18歳以上に選挙権が与えられますが、そのことについて家族と話し合いましたか？
- ② 投票できることについて感想を聞かせてください。
- ③ 候補者の選択はどのようにされますか？
- ④ どのような投票の方法なら、投票しやすいですか？
- ⑤ 東温市の市議会議員を知っていますか？

- ① 家庭で話し合ったことはありません。
  - ② 実感が湧かないのが正直なところです。世の中の事を知り、社会がどうすれば良くなるのか勉強したいと思っています。
  - ③ 候補者のホームページや新聞、テレビ等で情報を得たいと思っていますが、もっと候補者の情報が伝わりやすくしてほしいです。
  - ④ 選挙の雰囲気を感じたいので、投票所に行きたいと思っています。
  - ⑤ 知りません。
- ① 家庭で話し合ったことはありません。
  - ② 政治に参加できる身近な方法なので積極的に参加したいです。
  - ③ 候補者や政党のホームページを見てマニフェストを調べて投票したいです。
  - ④ 自宅にいてもインターネットで投票ができるような制度にしてほしいです。
  - ⑤ 知りません。



大西 勉 議員

## なせば成る とうおん地域創生

隣の市町とネットワークを保ちつつ地方創生事業に沿った形で有益かつ奇抜なことをすべきと思うが、市長のご見解は。また現在どのような事案に取り組んでいるか。

### 高須賀市長

地方創生に関する事業は百を超えたアイデアが出されていたが実現の可能性や継続性、財政負担も考慮し雇用、移住、子育て、地域づくりなど市政運営の基本的なものに絞り込んでいる。また松山圏域の3市3町が連携して取り組む観光や医療などいろいろな分野においても取り組んでいく。現在は、横河原駅前商店街の空き店舗を活用した交流拠点を整備する事業を議会に計上した。今後はネットを活用した事業や、「とうおん健康医療創生事業」にも取り組もう。

### 問

地方創生の目的は、まちに仕事があれば人が集まる。人が集まれば仕事が増える。仕事が増えればまた人が集まる。という地方の好循環を確立する事で地域の豊かさを図り、人口増に連動するという事だろ

私たちのまちも近



伊藤 隆志 議員

## 有害鳥獣拡大に 今後どう取り組むか

### 問

近年、有害鳥獣による農林業に及ぼす被害は、個々の農林業者の対処の域を越えていると思うが、行政機関としての対応は。

### 大森農林振興課長

市では、攻めの対策として「有害鳥獣一般捕獲事業」により、地

元猟友会への捕獲に対する支援。守りの対策として「農作物鳥獣害防止対策推進事業」により、農地に有害獣を近づけないための、電気柵等の侵入防止施設の設置に対する支援の2つの対策を柱に、取り組んでいる。駆殺補助金は、「有害鳥獣捕獲事業」により、サル、イノシシ、シカについては、それぞれ1頭2万円、カラスについては、1羽500円の補助金を交付している。サル、カラスについては、年間を通して、イノシシ、シカについては、猟期中を除き、補助金を交付している。

この補助金の年間総額は、平成22年度から25年度までは、概ね400万円から500万円で推移し、捕獲数も300頭以上であったが、平成26年度には、捕獲数が約2倍の584頭

また、昨年度から「鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業」により、先の補助金に、成獣1頭8,000円、幼獣1頭1,000円の上乗せ補助を行っている。また、従来は補助対象外であった猟期中のシカ、イノシシの内、シカの捕獲については、昨年度から「ニホンシカ森林被害防止対策事業」により、1頭1万円の補助金を交付し、この2つの事業によって、捕獲圧力を強化している。

有害鳥獣の駆除は、市の「農作物等鳥獣害防止対策協議会」の構成団体である、猟友会に加入し、その代表者が、推薦した人にお願

となり、補助金も約1,100万円と大幅な増額となっている。特にシカは約9倍の215頭となっている。

また、昨年度から「鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業」により、先の補助金に、成獣1頭8,000円、幼獣1頭1,000円の上乗せ補助を行っている。また、従来は補助対象外であった猟期中のシカ、イノシシの内、シカの捕獲については、昨年度から「ニホンシカ森林被害防止対策事業」により、1頭1万円の補助金を交付し、この2つの事業によって、捕獲圧力を強化している。

今後の総合的な被害防止対策としては、これまでの猟友会と連携した駆除、及び侵入防止施設の設置に加え、出没箇所等の環境点検、侵入防止施設の共同設置、追払い活動など、集落が一体となった取り組みを推進したい。



猟友会会員による有害鳥獣の駆殺

### 加藤社会福祉課長

生活保護とは日本国憲法第25条に規定する理念に基づき、国が生活に困窮するすべての国民に対し、その程度に応じ必要な保護を行い、必要最低限度の生活を保障するとともに、その自立を図ることを目的とした国民の生存権を国が保障する公的な制度である。市としても関係機関と連携を図り現状を精査し、あらゆる角度から助成制度を運用し個々の状況に応じた適切な対応を心がける。

## 生活保護はセフティ ネット

### 問

資産や能力等すべてを活用してもなお生活に困窮する世帯や個人がいる。行政は現状を精査し適切な制度の運用をする必要があると

思うがどうか。



森 眞一 議員

## 同一労働・同一賃金 非正規労働者の 労働条件改善を

### 問

学校給食センターの臨時で働く調理員は、正規の職員と同じ仕事をしているが、労働条件の違いは。また臨時職員の数は。

務内容は、調理上では同様の作業を行っているが、正規職員は現場での調整や意見の集約反映などの任務を担っている。よって雇用形態や業務内容に応じて賃金や労働条件に違いがある。

### ごみ問題

### 問

ごみの年間焼却量、焼却率はいくらか。プラスチックごみ処理の方法は。焼却炉は何年間稼働しているか、年間維持費はいくらになるのか。

### 池川環境保全課長

ごみ年間焼却量は5,258t、焼却率は70.8%。プラスチックごみは平成26年度容器リサイクル協会によって、262tがリサイクルされている。焼却炉は平成9年4月から運転、年間維持費は1億1,260万円。



ごみの焼却を減らそう

## 市女性職員の管理職 登用

### 問

女性の立場から市の方針や政策決定に参加していくべきと考えるが、女性職員の管理職への登用の現状は。

### 大西副市長

4月の定期人事異動で9年ぶりに課長級に女性職員1人を配置、課長補佐級に6人、係長級に2人の昇任を行った結果、係長級以上の役付職員に占める女性職員の割合が21.4%となり、初めて20%を超えた。

## 乗り合いタクシーの 現状と課題

現在の利用状況、運賃値下等、将来東温市全域での運行は。運賃値下げについては、アンケートで「現状のままでよい」との回答が8割を超えたので、現在の500円を続ける。将来市内全域への運行拡大は、多額の行政負担が必要ない。

大石給食センター長 給食センターの給食業務では、正規の調理員6人のほか、嘱託調理員・配達員、パート調理員20人の26人体制で行っている。正規と非正規の業



里山活性化の起爆剤・奥松瀬川筋の乗馬クラブ



安井 浩二 議員

### 独居老人体調急変時 介護認定までの 相談と支援

ならない。(長期入院なら、介護の認定を受けて退院)短期入院など体調が急変した時、介護認定がない独居老人は、どこに相談したら、どのような支援を受けることができるのか。

#### 森市民福祉部長

東温市の独居老人は何人くらいいるか。そのうちの何人が介護の認定を受けているか。介護の認定がない独居老人が救急病院に搬送され、短期で退院したら、食事を始め家事全般をその日からしなければ

本年4月1日現在、65歳以上の高齢者数は9,405人、そのうち独居高齢者は1,379人で、要介護等の認定者は、319人。65歳以上の高齢者の相談窓口は、東温市地域包括支援センターになる。電話連絡をすると、本人が入院中の場合は病院へ、在宅の場合は自宅へ担当職員が訪問する。相談者の状態等を調査し、要介護認定の申請や配食等の福祉サービスを利用するための申請等適切な生活支援に必要な手続を代行して行うことになる。



近藤 千枝美 議員

### 防災対策の充実を

防災士の育成や防災士の活動状況は、震災時の地震防止対策として地震を感じて自動的に電気を遮断する感震ブレイカーの普及促進と購入時の助成はどうか。えひめ防災週間に行われるシェイクアウト訓練について市民への周知、訓

防災士の育成や防災士の活動状況は、震災時の地震防止対策として地震を感じて自動的に電気を遮断する感震ブレイカーの普及促進と購入時の助成はどうか。えひめ防災週間に行われるシェイクアウト訓練について市民への周知、訓



感震ブレイカー

### 妊娠から出産・育児の切れ目のない支援を

本市における妊娠・産前産後のサポート、産後ケアの取り組みの現状は。

#### 野中健康推進課長

本市に在住の防災士は8月末で130人。内女性18人。34地区中8地区は防災士がない。25年11月防災士会を結成。研修会、HUGの実践などスキルアップに努めている。市総合防災訓練の防災グッズ展示で感震ブレイカーを紹介し、今後、普及や助成制度も検討したい。12月17日の「シェイクアウトえひめ」の訓練を広報などで周知する。小中学校、幼稚園・保育所にも参加を呼びかける。

導入には電算システム改修費に多額の費用を要するなど問題点があるため当面は現行の収納方法を継続する。なお、今後引き続き研究課題とする。

### 犬猫の殺処分ゼロへの取り組みを

市の動物愛護施設の情報。迷い犬猫の情報を、市のホームページへの掲載や譲渡会・しつけ教室の開催など実施してはどうか。

#### 池川環境保全課長

26年度、犬猫合わせて206頭を動物愛護センターへ送致。迷い犬猫の情報掲載、市独自の譲渡会、しつけ教室開催の予定はない。

### ふるさと納税の状況は

この制度を利用して東温市を全国にPRすれば将来住んでみたいと思う人につながるかもしれない。人口減少対策の1つになるのではないか市の取り組みは。

#### 渡部総務課長

市はプロジェクトを設置し、寄附金の受け入れ等に取り組んでいる。平成26年度からは、市特産品のPRを目的に東温市特産品の詰め合わせの贈呈を開始した結果、寄附件数は約3倍に増加した。

### 税収の推移による景気の動向は

大都市圏では雇用も収入も向上し、景気の回復が見られているが、地方では法人市民税の推移からみても景気の回復はまだあられていない。税収の確保は重要だが給与所得者の特別徴収状況からみて税収増が期待できるか。

#### 水田総務部長

毎年実施する課税状況調べで、平成23年度から平成26年度を比較すると、個人の生活状況が改善しているとは思えない。法人市民税の税収においても、企業の業況が改善されているとは言い切れない。



特産品詰め合わせ



山内 数延 議員

### 東温市総合戦略の概要と第2次東温市総合計画との整合性は

我が国の人口減少、特に地方の人口減少に歯止めをかけ、地域社会を担う人材の確保を図ること及び地域に就業の機会を創出する一体的な推進計画の東温市総合戦略(5年間)の概要と、第2次総合計画(10年間)との整合性及び優先的な施策は。

我が国の人口減少、特に地方の人口減少に歯止めをかけ、地域社会を担う人材の確保を図ること及び地域に就業の機会を創出する一体的な推進計画の東温市総合戦略(5年間)の概要と、第2次総合計画(10年間)との整合性及び優先的な施策は。



東温市地域包括支援センター

### 介護保険負担限度額確定申告書は通帳のコピーでなく誓約書

低所得者の特老など施設入所者への部屋代や食事の補助が預貯金などの資産が単身で1,000万円を超える場合は打ち切られる。明石市では、申請時の預貯金などの額が確定できる書類の添付を省略し、資産内容について虚偽がないとする誓約書の提出を求め温市はどうか。

#### 今後の国保

平成30年度から都道府県が国保の財政運営の責任主体となる、東温市の国保はどうなるのか。

#### 安井市民課長

被保険者証の発行などの資格管理や、保険給付などの窓口業務、特定健診などの保健事業は、地域住民と身近な関係の中、被保険者の実情を把握した上で、市町が引き続き行うので、大きな変化はない。

#### 門田長寿介護課長

負担軽減を受けるための申請に預金通帳の写し等や同意書

### 総務産業建設委員会

#### 委員会での審査概要

◎平成27年度東温市一般会計補正予算について

**問・多世代交流拠点整備事業とは。**  
答・横河原商店街の活性化対策として、空き店舗を借り、改装する。市は、他の自治体のサロンを参考に、多世代が交流できる施設を創る。工事は、トイレがないので、下水の引き込みや多目的トイレ設置に工事費がかかる。



県外の多世代交流サロン

**問・地方創生総合サイト構築事業は。**  
答・現在の市のホームページの内容は、情報も不足しているので、4つの総合サイトを新設する市ホームページからでも、この総合サイトにつながり、情報が見える。

**問・空き家活用推進事業は。**  
答・空き家を売りたい、貸したい等、所有者の希望によつて「空き家バンク」に登録してもらおう。市は、情報のみの提供で、本人と不動産業者とで契約することになる。

**問・平成27年度東温市水道事業会計補正予算**  
◎東温市個人情報保護条例の一部改正について  
◎東温市防災行政無線移動系デジタル化整備工事請負契約の締結について  
以上3件は、  
全員賛成 原案可決

**◎森林整備の推進と林業の成長産業化を求める意見書**  
◎「公開討論会」開催について愛媛県知事に「意見書」送付を求める請願  
賛成者なし 不採択  
【委員長 渡部繁夫】

### 文教市民福祉委員会

#### 委員会での審査概要

◎平成27年度東温市一般会計補正予算について

**問・奨学金寄付は市民からか、また奨学金の基金残高は。**  
答・今回の寄付金3件は市内外の方からで、基金残高は4月現在168万5,395円である。

**問・個人番号カードは強制か、また個人の都合により郵便を止められている方の受け取り方法は。**  
答・個人番号カードは交付希望者のみに作成する。住所と居住地が異なる方は住所地の自治体に居住地へ送付する届出をする。病院等に入院中の単身者及び高齢者施設入所者の方も同様の方法で受け取れる。

**問・婚活支援事業の計画はどこか**  
答・県子育て支援課の指導により、えひめ結婚支援センターのアドバイザーを受けた。

**問・民間だけでなく市役所の職員も婚活を進めては。**  
答・市職員にもセミナーへの参加を呼びかけたい。

**問・今回の補正予算で川内公民館のトイレ改修は身障者用トイレを含めて全て完了するのか。**  
答・川内公民館は今回の工事でトイレの改修は全て完了する。また多目的トイレは、以前に改修を終え整備されている。



改修を終えた川内公民館の多目的トイレ

**◎東温市手数料徴収条例の一部改正について**  
◎東温市立児童館条例の一部改正について  
以上2件は、  
全員賛成 原案可決

**◎東温市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について**  
賛成多数 原案可決  
【委員長 山内数延】

# 討論



#### 反対討論

◆「伊方原発再稼働の同意を行わないよう求める請願」を継続審査にした委員会の採決に反対する。

伊方原発の近くを中央構造線が走り、近い将来南海トラフ大地震が予想される。福島原発事故の究明もされていない。

ひとたび重大事故が起こると、人類はまだ死の灰をなくすことも閉じ込めておくこともできない。人類の原発技術の現段階では安全な原発などありえない。世論調査でも新しい規制基準を満たした原発について政府が進める再稼働に反対が58%で、賛成の37%を大きく上回っている。原発は再稼働せず廃棄して、電力は再生可能エネルギーでまかなうべきである。

#### 反対討論

◆「議員定数を削減する議案」を採択した委員会報告に反対する。

議員には、市民の代弁者として市民の声を議会へ届ける役割がある。議員数が多いほどより多くの声を議会に反映できる。重信・川内両町で36人いた議員は、合併時に24人に減らされた上に、合併後2期目の08年選挙ではさらに、6人も減らされて18人になり、来年の選挙から2人へ減らされて16人にされよつとしている。合併前の半数以下の議員になる。市民の声は、ますます議会に届かなくなる。

議員定数は議会制民主主義の水準の基本になるもの。草の根で頑張る知名度の低い者も議員になれるような定数にすべきだ。

#### 賛成討論

◆東温市議会の議員定数を定める条例の一部改正に賛成する。

東温市議会議員定数等調査特別委員会を設置し、視察研修や市民からのアンケート調査、支持者からの意見を参考に、委員会を開催し、協議を行った。現行の議員定数18人で算出した議員1人当たりの人口は、1,898人となり、県下11市の中で最も少ない人数となる。定数削減の大きな理由から、議員数が多いなどの声である。議員が少なくなれば市民の意見が反映されにくいと懸念されるが、議員1人1人が市民の声を聞きパイプ役になれば問題は無い。議会運営委員長報告の議員定数16人に賛成する。

#### 賛成討論

◆「公開討論会」開催について愛媛県知事に「意見書」送付を求める請願を不採択とした委員会報告に賛成する。

再稼働に関し、中村知事は、重大事故などに最終的な責任を持つという安倍首相の意思表示など国に要望した8項目を示したうえ、県議会や、周辺市町の議論を踏まえたうえ、決断をするとしている。

東温市議会は、昨年11月「原発事故が起こらないという安全性が確保されない限り伊方原発を再稼働しないよう求める意見書」を国に提出し、再稼働に対する市議会の考え方を述べている。

委員会の採決も、全委員一致の不採択で、委員会の決定に賛成。



**議場音響設備の改修**

**決算額 23,868,000円**

議会運営を円滑に行うために、映像、音響設備の一元管理を行い、操作の簡素化と運営の省力化を実現できるマイク及びカメラ制御システムの改修を行いました。

◇**主な改修内容**

- ・大型モニター設置による出席議員数、一般質問時の残時間表示、残時間連動ブザー機能の追加
- ・議長と議席の同時撮影、議場全体の起立採決場面などの多彩な撮影機能の追加
- ・パソコンシステムによる全ての音響機器類の操作制御
- ・議会中継画面への会議名、発言者名、休憩表示等のテロップ挿入
- ・録音、録画のデジタル化及び保存、各種機器類の遠隔制御
- ・埋め込みマイクから立ち上がりマイクへの変更
- ・高解像度カメラの設置による高画質動画の配信
- ・壁設置型の大型スピーカー配置(4台)による高音質化
- ・採決ボタンによる集計結果を一目で確認できる機能の追加
- ・発言ボタンにより発言要求者が一目で確認できる機能の追加



**決算審査特別委員会設置**

前年度の予算執行状況を審査するため、平成27年10月13・14日に決算委員会を行いました。前年は所管する部門の決算を審査していましたが、9月議会において議長と監査委員を除く14人で構成する決算審査特別委員会を設置し、幅広い視点で審査を行いました。



**平成26年度決算の施策の一例**

**防災行政無線の周波数統合整備**

**決算額 477,532,650円**

高度な通信手段を確保し、更なる防災機能の強化と危機管理体制の構築を図るため、アナログ2波をデジタル1波に移行・統合するとともに、システムの一元化を図りました。

また、災害等の緊急時に屋外拡声子局(スピーカー)から市内全域に一斉放送できるシステムを整備するなど、市民の安全安心の確保に努めました。

なお、災害現場と災害対策本部(市役所)との間など、車載型・携帯型移動局との通信を可能にする防災行政無線移動系デジタル化移行整備に向けた実施設計も行いました。



**東温市誕生10周年記念事業**

**決算額 5,716,722円**

市制施行10周年を迎え、東温市の魅力を再発見・再認識するとともに、郷土愛を高め、さらなる飛躍を図るため、東温市誕生10周年記念事業を実施しました。



◇**主な事業内容**

- ・東温市誕生10周年記念PR映像制作
- ・とうおん未来予想図 夢の絵画コンクール
- ・東温市誕生10周年記念式典
- ・東温市誕生10周年記念「市勢要覧」の発行
- ・東温市誕生10周年記念広報啓発事業

**とうおんまるごと見本市の開催**

**決算額 2,145,768円**

市内中小零細企業の認知度向上や、市の魅力の再発見、郷土愛の醸成を図るため、市民・企業・行政の連携のもと「とうおんまるごと見本市」を開催しました。また、「とうおん夢の食卓」、「とうおんゆるキャラまつり」など特別イベントの同時開催により、さらなる賑わいを創出しました。

◇**主な事業内容**

- ・とうおんまるごと見本市  
参加事業所数 60社、来場者数 延べ6,000人〔開催日：平成26年9月27日、28日〕
- ・とうおん夢の食卓 ～東温市で、いっしょに食べよう～  
参加者 200人〔開催日：平成26年9月27日〕
- ・とうおんゆるキャラ® まつり  
ゆるキャラ参加数 33体〔開催日：平成26年9月28日〕



**小学校施設の改修**

**決算額 223,768,600円**

**【翌年度繰越額】 65,119,000円**

〔北吉井小学校〕

- ・耐震補強改修工事
- ・散水栓設置工事
- ・グレーチング設置工事

〔南吉井小学校〕

- ・耐震補強改修工事

〔上林小学校〕

- ・プール改修工事



**南吉井地区児童館の整備**

**決算額 141,758,593円**

**【翌年度繰越額】 176,184,000円**

子育て支援のより一層の充実を図るため、児童健全育成の拠点施設として市内で最も児童数の多い南吉井地区に、平成27年10月、よしいの児童館として開館しました。



**高規格救急車及び可搬ポンプ積載車の更新**

**決算額 30,855,540円**



平成9年3月に導入した消防本部の高規格救急車について、高度救命処置資機材など最新の機能を備えた車輜へと更新を行いました。なお、車輜本体については「JAえひめ共済連」より寄贈を受けました。また、平成元年1月に購入した可搬ポンプ積載車についても、老朽化に伴って車輜の更新を行い、市民の安心・安全の向上に努めました。

議員定数等調査特別委員会報告

◆設置経緯

平成27年3月19日に東温市議会における議員定数等に関する事項を調査及び検討するため8人の委員で構成する議員定数等調査特別委員会を設置した。

住民の生命財産を守り公共の福祉向上を図る地方公共団体にあつて、行財政改革の一躍を担う市議会自らが、率先して減量化を図り市政運営を行っていく必要がある。

議員定数については、類似自治体の議員定数等を参考に、議員1人当たりの人口比等を含め検討を行うこととし、徳島県の小松島市への研修を議会改革と合わせ行なつた。

効率的な運営をめざす議会の姿勢、行政への住民参加の推進、議会関係経費の削減、全国的な議員定数の見直し(全国813市のうち、議員定数の削減が、平成27年1月以降の選挙において適用となる市が151市ある)が行われている状況を踏まえ、議員定数の削減が方向づけられた。

◆協議内容

その後、数回の委員会を開催し議員定数を見直す中で、各委員からは東温市の地理的条件等を踏まえる14人でよいとの意見や、15人が適切であるとの意見が出たが、16人という意見が最も多かった。

県内他市における人口規模の小さい東

温市を除く4市の議員数を、議員1人当たりの人口として算出すると今年1月1日現在の平均は、約2,070人となつており、東温市の同日の人口3万4,157人で計算すると、16.5人となる。

今後、東温市においても人口の減少が見込まれるため、16人と決定した。

なお、議員定数の削減においては、全市民的な視野と課題をもつた議員、政策集団となることが必要となるが、議員報酬については、県下11市の中で最も低いため、志を立てる議員をめぐす若い世代の各界各層からの優秀な人材の輩出を図るためにも改善が求められる。

委員長

大西 勉

愛媛県内各市の議員定数と議員1人当たり人口

(平成27年2月調査 単位:人)

市名	条例定数	人口(H27.1.1)	議員1人当たり人口
東温市	18	34,157	1,898
伊予市	20	38,544	1,927
西予市	21	41,119	1,958
大洲市	22	46,311	2,105
八幡浜市	16	36,710	2,294
宇和島市	26	81,724	3,143
四国中央市	26	90,977	3,499
西条市	30	112,935	3,765
新居浜市	26	123,330	4,743
今治市	34	166,059	4,884
松山市	43	516,233	12,005

市議会Q&A

Q:特別委員会とは?

A:特別の案件を審議あるいは調査するため、議会の議決により設置される委員会です。

一般的には臨時的な議案を扱うものや、重要な問題を審査・調査するものなどがあり、期間を限定して設置され、その目的が達成されると廃止されるものがほとんどです。

東温市議会では、人口減少の克服や特産

品の創出などを提言

検討する「地方創生調査特別委員会」や適正な議員定数を審議する「議員定数等調査特別委員会」、市民の負担に応え、可視化された議会を目指す「議会改革特別委員会」、雇用の場の確保や総合保健福祉センター建設について審議する「市街地見直し及び総合保健福祉センター建設検討特別委員会」

などが該当します。

# 議員定数を削減 18人→16人【次の一般選挙から施行】

議会改革特別委員会報告

◆作業部会の報告

これまで議会改革特別委員会において、議会はどうかあるべきかを議会倫理条例並びに議会基本条例を展望しながら、検討してきた。

議会倫理条例については、平成27年3月議会で議決し施行している。その後議会基本条例については、4人の議員で構成する作業部会において先進事例を調査研究し、検討を重ねている。

地方自治法の規定の遵守とともに、公平性と透明性の確保、積極的な情報公開、議会活動への多様な市民参加の推進、市長等の執行機関との緊張の保持、東温市議会議員との自己研鑽と資質の向上、議員間の自由討議の展開、そして、



作業部長 相原 眞知子

議会活動を支える体制整備等を図り、市民に信頼され、存在感のある議会を築くことを目的としている。

条例の前提となる議会改革はすでに大部分が行われており、作業部会で協議した全体の大枠については完了しているが、今後各条の内容について協議する予定であり、10月末をめどに作業を終え、議会改革特別委員会に報告する予定である。

地域における、魅力ある多様な就業の機会の創出をめざし、全国1,718の市町村が競って創意工夫し全力で地方創生に取り組んでいる。



委員長 佐伯 正夫

調査特別委員会を設置した。

急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために、まち・ひと・しごと創生に関する施策の調査研究を行うため、8人の委員で構成する地方創生調査特別委員会を設置した。

◆設置経緯

地方創生調査特別委員会報告

しており、10年の実績を持つ「ミュージカル」坊っちゃん劇場」に付加価値を付け、スケールの大きな拠点になるよう支援していけば、東温市が国内はもちろん海外からも観光客が誘致できるという意見がある。

執行者が総合戦略の取りまとめを進めている中で、市民の代表として、地域活性化のため、東温市の将来を見据えて提言していく。

平成27年閉会中の主な議会活動

7月	議員全員協議会
13日	議会改革特別委員会
14日	議会だより編集委員会
22日	議会だより編集委員会
23日	議会改革特別委員会作業部会
8月	議員全員協議会
5日	議会だより編集委員会
10日	議会改革特別委員会視察研修(徳島県小松島市)
11日	議員定数等調査特別委員会
17日	地方創生調査特別委員会
17日	議員全員協議会
26日	議会改革特別委員会作業部会
26日	議会改革特別委員会作業部会

# 議案等議員別表決結果、及び議決結果 一覧表

○：賛成 ×：反対 可：原案可決 否：否決 採：採択 不：不採択 承：承認 設：設置 継：継続審査

議員名	松末博年	丹生谷美雄	山内数延	渡部繁夫	森 眞一	相原眞知子	永井雅敏	酒井克雄	丸山 稔	近藤千枝美	安井浩二	大西 勉	三棟義博	山内孝二	伊藤隆志	佐伯正夫	議決結果	
平成27年第3回定例会（9月）																		
議案 44	平成27年度東温市一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 45	平成27年度東温市水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 46	東温市個人情報保護条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 47	東温市手数料徴収条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 48	東温市立児童館条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 49	東温市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 50	東温市防災行政無線移動系デジタル化整備工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議 4	東温市議会の議員の定数を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議 5	東温市議会委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
意見 4	森林整備の推進と林業の成長産業化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
請願 6	「公開討論会」開催について愛媛県知事に「意見書」送付を求める請願	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不
議長発議	決算審査特別委員会の設置について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	設
議長発議	議員の派遣について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承
請願 5	東温市議会が決議・提出した「意見書」（平成26年11月11日）の立場を、県に対し「意見書」として表明・決議し提出を求める請願書	(閉会中の継続審査)															継	

発行／東温市議会 編集／議会だより編集委員会  
〒791-0292 東温市見奈良530番地1

TEL 089-964-4422 FAX 089-960-5186  
◎議会事務局メールマガジン gikaijimu@city.toon.ehime.jp

印刷／明星印刷工業株式会社  
再生紙を使用しています。



みどり市議会のみなさん

**■群馬県みどり市議会**  
10月21日「バイオマスの利活用による資源循環型まちづくり」について議員5人、職員2人が視察に来訪。



安中市議会のみなさん

**■群馬県安中市議会**  
10月15日「次世代エネルギーパークを起点にした循環型まちづくり」について議員7人、職員1人が視察に来訪。

## 視察・研修



東温市イメージキャラクターのどん

## 議会インターネット中継

「市のホームページ」で議会開会中、生中継がご覧になれます。  
また過去2年間の録画中継もご覧になれます。  
(市ホームページアドレス)  
<http://www.city.toon.ehime.jp/gikai/>

16 (水)	11 (金)	10 (木)	9 (水)	8 (火)	4 (金)	1 (火)
閉会	福祉委員会	文教委員会	総務委員会	一般質問	一般質問	質疑

12月議会の日程(予定)

**● 編集後記 ●**  
26年度まで10年間普通交付税は、合併した市町村が不利にならないための特例措置として、合併がなかったと仮定して算定した額が交付されますが、今年度から31年度までに段階的に縮小されます。その結果、市の財政運営も厳しくなります。議員の責任は重くなり、議会でのチェックもさらに細かくなります。本紙を通してみなさんに詳しくお伝えしたいと思えます。(安井 浩二)

**発行責任者** 山内 孝一  
**編集委員**  
**委員長** 丹生谷美雄  
**副委員長** 近藤千枝美  
**委員** 佐伯正夫、伊藤隆志、三棟義博、安井浩二、相原眞知子、渡部繁夫、松末博年

表紙撮影／松末博年